
西暦4000

まあ坊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

西暦4000

【Nコード】

N4435B

【作者名】

まあ坊

【あらすじ】

地球VSレデュー星による宇宙規模の戦争の被害者ココは、声を失う。その戦争に深く関わるアランに出会うが…？涙あり愛あり！

イチ（前書き）

人は憧れた。

手に入れた。

未来を。

車が飛び、ロボットが歩き回る。

そんな時代の話。

イチ

人間は夢を見る。

それは果てしない夢。

掴みたくて掴みたくてとうとう掴んだ。

掴んだ後は落ちるだけだと誰かが耳元で囁いた。

落ちた後の世界。

遠い遠い未来の話。

『Hey you! 何悲しい顔をしてる? 俺? 俺は悪魔で天使。えつ: 何で車が空を飛んでるかって? 馬鹿かいあんた。ここはNIP P O N。今は西暦4000年だぜ?』

西暦4000

『おいあんた!』

誰かが言った。

この路地裏にはあいもかわらず乾いた空気が充満していた。

もうあれからどれくらい経ったのだろうか。

私の頬には微かに涙の跡が残る。

しかし今では枯れてしまった涙。

栄養に水分をすっかり失った私にはもう力などなかった。
ふと強い風が吹き、体が地面に叩きつけられてしまった。
倒れた先には水溜まりが。

水面に映ったのは痩せてやつれた自分の顔。
このまま目を閉じていっそ、死んでしまおうか。

私は目を閉じた。

自分は死んだんだと思った。

しかしその瞬間瞼の裏に何かが浮かんだ。

すごくぼんやりとしている。

泣く人。

叫ぶ人。

燃える町。

たくさんの死体。

響く笑い声。

誰…？

助けてよ。

声が出ない。

待って。

はつきり見えたのは二人の男の背中だけ。

そっか…ここは地獄だ。私やっと死んだんだ。そう感じた。

誰かが呼んだ。

地獄の番人かな。

好きにして下さい。

死んだんです、私。

『おいっ！』

えっ…？

誰かが呼んだ。

私の目は開く。

『あなた…大丈夫か…？？？』

そい言えばさつき誰かが自分を呼んだ気がした。

ゆっくり、力をふり絞って顔をあげた。

見た先には一人の男がいる。

風で揺れた男の銀色の髪は、光に反射してキラキラ光った。

大きな眼鏡がずり落ちて、青い瞳がちらりと見えた。

近づいて来た男はしゃがみこんで言う。

『あなた…そんなにやつれてどうしたんだい…？？名前は何？』

私は口をパクパクさせた。

出ないんだ。

声が。

何かで塞止められたかのように、何かの呪いがかけられているように、でない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4435b/>

西暦4000

2010年12月31日03時07分発行